

障害者基礎調査の質問票案に対する委員等意見一覧及び県の考え方

頁	質問票案における記載	修正案	その理由等	県の考え方(対応)
前提	身体障害者を一括で900人というのは、大雑把な枠組みではないか。	900人(or1500人)の完全不作為ではなく、各種別毎に最低限一定数対象となるよう枠を設定すべきである。	統計上の誤差は生じうるだろうが、調査の本来的趣旨(可能な限り広く各当事者の声を施策に反映する)という主目的に優先することはないと考えます。 対象者(障害区別)が400人に満たないということであるが、東京都が実施している同調査では、身体4000人中、対象を更に配分している(視覚560、聴覚560、音声言語他360、上肢390、下肢400、体幹390、脳原性運動機能340、内部1000)。 調査規模が異なるので、異なる要素はあると思うが、少数者であるが故に調査対象から漏れる若しくは声が反映されにくいということがあってはならないと考えます。 大枠(身体としての)を変える必要はないが、内訳に関しての個別の枠組設定、工夫はなされるべきだと思います。	身体1500、知的400、精神400、発達400、難病400の3100に増やし、身体1500の内訳として、肢体750、内部500、聴覚100、視覚100、音声言語50という枠で実施することはどうか。 ただし、委託費用が増大する可能性があることから、見やすさにあまり影響を与えない程度で、行間を少なくするなどしてページ数を減らすこととし、予算の範囲で対応できるようにしたい。 なお、費用面から1500人に増やせない場合は、予算の範囲内で増やす方向で調整したい。
前提	回収率の改善についての工夫	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象世帯には、事前に「調査実施のお知らせ」を送付する等事前に調査協力依頼(東京都、岐阜県) 調査票を訪問し手渡し(東京都、岐阜県、大阪市) 調査自体を訪問で実施(東京都、岐阜県) 質問票を障害別に用意(大阪市) 	左記工夫ができていない自治体は回収率が60%を超えている。予算の問題もあると思うが、調査規模が約3倍ほどの東京都も、当県との予算との比較で倍以上かかったということもないとのこと。(具体的予算は公表していないとのことであるが、愛知の予算を大きく上回るというようなことはなかったとのこと) 物理的、予算的に不可能ということはないはずです。	東京都は65問で30ページ、愛知県は現状98問38ページとなったことから、単純に単価は愛知県の方が高いと考えられる。そこで、ページ数を30ページ程度に抑えることとし、更に委託業者に回収率向上対策を工夫させること(業者選定の項目に加える)により対応したい。 なお、東京都は非常勤職員約150人で訪問調査を行うなど、予算に表われない差がある。
前提	一般競争入札により事業者へ委託、当初予算288万円。	調査分析をAIを導入してマンパワーと合わせて、それ以上の解析を実施可能な業者に委託する。	各項目の紐付けが得意なAIの特性から、単なるアンケート実施ではなく、社会問題の解決に向けた提案もしてもらいたいです。	現実的にはAIを導入した解析を行うには予算が足りないと思われるが、クロス集計などにより解析を進めたい。
前提	問の数が多い	途中までしか回答ができていなくても、返送を依頼する言葉を入れたほうがいいのか。		対応済
前提		高次脳機能障害についての設問を増やすべきではないか	名古屋市で作成している障害者基礎調査では高次脳機能障害についての設問があるため。	高次脳機能障害について、設問の追加を行う。
全体		特になし	知的障害者で視覚障害となると、回答する項目がない場合があります。	対応不能
全体	選んだ番号によって、矢印で次の問番号が書いてあります。	音声だけで聞いているとわかりにくいです。	矢印について、問番号が大きくとぶ時は必要かもしれないが、次の問にいくだけであれば必要ないと思う。	音声版を御指摘のとおり修正
3	問1	3の5 その他)の「」は不要	文章の整合性。	対応済

頁	質問票案における記載	修正案	その理由等	県の考え方(対応)
3	基本属性の間2 ①・男性②・女性	①男性 ②女性 ③ その他とか、答えたくないを加えたらどうかと思います。	現代は、男性、女性だけではない人もいます。	対応済
3	「3. 家族」→記入者を選択…「3. 夫または妻」… 「4. その他」	3. 配偶者 (パートナーを含む) 4. 施設職員 5. その他	本人が同席しない場合の回答者の可能性を考えたため	一部修正のうえ対応済
3	問4	設問の削除	問5以降に詳細な障害を選ぶ項目があるため、この質問は必要ないのではないかと。	難病の方及び手帳をお持ちでない方には必要な設問と考える。
4	問6	「14. その他 ()」を追記する。	他の設問形態に合わせる。	手帳上あり得ないので対応しない
4	問8	2. 発達障害のカッコ部分に「自閉スペクトラム症、注意欠如症、学習症」と追加。		対応済
5	問11	1行追加 (もしくは、取得の古い順に2種とする)	3障害のある人は、2行しかないと戸惑うため。	対応済
5 14	問11 問37	「手帳」に振り仮名を振る(2ヶ所) 「その他」の「他」に振り仮名を振る	全編振り仮名表記による。	対応済
5	問12の選択肢「2. アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害」「4. 注意欠陥/多動性障害(AD/HD)」	2. アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害 4. 注意欠陥多動性障害(ADHD)	発達障害者支援法の定義では「、」や「/」の記載がないため	対応済
7	(問18の選択肢に追記)	8. 5歳 9. その他	議会質疑等でも「5歳児検診」でのスクリーニング等が話題に上ることがあるため。	対応済
7	問20の選択肢「4. 夫または妻」	4. 配偶者(パートナーを含む)	同居人としてパートナーと住んでいるという方もいると思われるため	対応済
8	問21 6. グループホーム 7. 福祉ホーム 9. 障害者支援施設 の違い	6. 共同生活援助事業所(グループホーム) 7. 福祉ホーム 9. 障害者支援施設(入所施設)	本人や家族に分かりやすい名称にさせていただいた方がよいのでは。	対応済
8	問21「3. 公営賃貸住宅」「4. 民間賃貸住宅」		※素朴な疑問でURはどちらに○をつければ良いですか？	対応済
8	問23、問24 福祉ホームとグループホームの違いをどう捉えているか疑問に感じます。		福祉ホームの方が自立しているように感じます。グループホームから自立したいという声も多く聞きます。	問22～24で「福祉ホーム」を削除することにより対応済
9、 11	問26あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。	案1：障害福祉サービス等 案2：障害福祉サービス及び障害児を対象としたサービス	P11の回答の中には「18. 児童発達支援・放課後等デイサービス」という児童向けのサービスの記載があるため	一部修正のうえ対応済

頁	質問票案における記載	修正案	その理由等	県の考え方(対応)
9	問26		大項目が分かれているので仕方ないと思いますが、前項でサービス利用を明確にしている、ここでこの設問が...と考えるのでは。	対応しない
10～	「18. 児童発達支援・放課後等デイサービス」「9. 施設入所支援」	※「自立生活援助」「就労定着支援」等を追記	平成30年4月からの新サービスの記載が見当たらないため	対応済
10～	18 児童発達支援・放課後等(ほうかごなど) デイサービス	13 児童発達支援・放課後等(ほうかごとう) デイサービス	放課後等の「等」の読み方は、音読みではなかったでしょうか。	対応済(音読みで統一)
12	問29 利用しているサービスについて満足しているか?について就労移行支援、就労継続支援B型、A型が他に比べやや低い。	問27の満足度の低い理由の設問をもう少し増やすか、自由回答欄を加える	現行法の問題点の洗い出しをするべき。精神障害者の就労は問題点が多いと感じています。	対応済(問30を新設)
13	問34 選択項目 6. 自立訓練(生活訓練) 7. 自立訓練(生活訓練)	6. 自立訓練(生活訓練)	重複しているから	対応済
13	問35	※成年後見制度についての記載を設けてはどうか?	P18の問38に成年後見制度の質問があるが、P16問32のような記載がないとわかりづらいと感じたため(あえて記載していないなら無視してください)	対応済
13、 25	問35 問89	囲み説明 2 意志を意思に修正する 三つめの・の 意志を意思に修正する	漢字のミス入力の修正。	対応済
13、 15、 16	問35 問41 問45	2の説明に「要約筆記者」を追記する 「4. わからない」を追記する。 「3. その他」を追記する。	法的制度としてある。 わからない場合もありえる。 他の設問形態に合わせる。	対応済
15	問43の選択肢	※「高専」「各種学校」といった選択肢を追記しては?	そういった学校に通学している方もいると思われるため	一部修正の上対応済
16	問45「4. 福祉サービス」	※「放課後等デイサービス」など福祉サービスとひとくくりにしたくない選択肢があっても良いのでは?	回答内容を明確化するため	対応しない
16	問48 「病院や入所型の保健・福祉施設ではなく、ご自宅でお暮らしの方にお聞きします」	グループホームを含むかどうかの説明の追加	自宅の対象にはグループホームも含むのか、含むのであればその説明が必要ではないか。	対応済(含まない旨記載)
17	問50	4. その他 に()を追記する。	他の設問形態に合わせる。	対応済
17	問52 かかりつけ医の有無	かかりつけ医のない人に対してその理由を自由回答してもらいたい	かかりつけ医を持ってもらう対策のため	対応済(問53を新設)

頁	質問票案における記載	修正案	その理由等	県の考え方(対応)
18	問54の選択肢「1. 基本健診」	※「基本健診」が何を指すのか不明確なので、読んだ人が回答しやすい内容に修正しては？	「基本健診」とは何のことなのかわかりにくい	対応しない
18	問55	2に「字幕・文字多重放送」を追記する 4に「書籍」を追記する。	字幕や文字多重放送から情報を得ることが多いことによる。 書籍も重要な情報入手手段であるため。	対応済
18	問55 生活していく情報を入手する方法	ホームページ(インターネット)、とSNSはあるが、携帯(スマートフォン)を入れたらどうか	外出先での情報入手はスマホが多いと思います。	使用機器はパソコンか携帯(スマホ)かは問わず、ホームページかSNSかのみで足りると考えるため、対応しない
18	問56	視覚・聴覚障害以外の人に必要でしょうか		対応済
18	問56	2に「介助員」を挿入する	法律用語を使用する。	対応済
18	問56	4に「文字多重放送」を追記する。	字幕放送と文字多重放送がある。	対応済
18	問56	5「手話奉仕員(通訳者)の派遣」を「手話通訳者の派遣」に訂正する。	手話奉仕員の派遣は法律上の制度からなくなったため。	対応済
18	問56	6「要約筆記奉仕員の派遣」を「要約筆記者の派遣」に訂正する	要約筆記奉仕員派遣制度は廃止され「要約筆記者派遣」制度のみとなったため。	対応済
18	問57	9に「電光掲示による文字情報の充実」を追記する	現実に利用率が高い。	対応済
18	問57 情報バリアフリー化に関しての施策	発達障害や知的障害の人が使いやすいスマホを利用したアプリや災害時に伝わりやすい施策があると良い	障害のある人も、Itを使って意思の確認や選択が分かりやすくできると良いので	対応済
19	問60	2に「触手話」を追記する	「触手話」というコミュニケーション方法が広く活用されていることによる。	対応済
19～	問62以降	「バリアフリー」という言葉がよく出てきますが、今は、「ユニバーサルデザイン」の方が良いのではないのでしょうか。		対応済
20	問66 各ご家庭の経済状況について、厳しいか否か、このアンケートではあぶり出しにくいのではないのでしょうか？	障害年金を受けたくとも受けられない障害者の把握ができる項目の追加をお願いします。	経済的に厳しい状況の常態化はなるべく避けたいという意図で、無年金者の把握はしておく必要があるのでは？	対応済(問67を新設)
22	問73 これまでに仕事をしたことがありますか、とあります。	途中で障害になった人もいますが、障害になる前にしていた仕事も含まれてしまわないでしょうか。		対応済

頁	質問票案における記載	修正案	その理由等	県の考え方(対応)
22	問76 選択肢について	就労継続支援B型及び生活介護も選択肢に入れてほしい。	障害当事者は就労継続支援B型及び生活介護も仕事と考えるため	対応済
23	問78	設問に「平均すると」の文言を挿入する。	仕事量による賃金の月額差や臨時収入の有無などを勘案する。	対応済
23	①問79 就労が長続きしない理由は… ②問79の選択肢	①長続きしないことと離職は違うので適切な表現に修正しては？ ②回答の選択肢に「キャリアアップのため」「学校に行くため」などの肯定的な選択肢も追記しては？	①問の表現の意図が明確でないため。 ②選択肢が離職すること＝マイナスなことと決めつけているように感じられるため。	対応済
24	問80 7・仕事や職場になれるまで、付き添って助けをする人がいる事	7・仕事や職場になれるまで、その人の働きやすい環境に整備をして、会社とのやり取りをしてくれる人	ジョブコーチ制度のことをイメージしています。	対応済
24	文化芸術活動について	する・しないは興味があるかどうかなので、それを聞いて何の意味があるのかわかりません。		必要な設問だと考えます
24	①問81と問82の質問順 ②問81の選択肢	①問76と問77の質問の順番を逆にしては？ ②「8. おこなっていない」を追記	①質問の流れが逆の方がスムーズに感じられるため。 ②文化芸術活動を行っていない方もいると思われるため。	対応済
24	問81	「7. 文芸」を追記する	文化芸術活動の一分野として確立している。	対応済
25	問85の選択肢「4. 興味がない」	「4. 興味がない・したくない」	「したくない」方もいると思われるため	対応済
25～	(12)(13)からのアンケートは内容が難しく、障害のある人にわかりにくい	振り仮名を付けるだけではなく、言葉の意味を分かりやすい言葉で表現しないと、理解が難しい。 例えば 養護者等	当事者が答えるのに、難しい質問がある。	よりわかりやすい表現に修正
25	問88の選択肢「2. 仕事場」	選択肢を分け、「職場」「施設・事業所」としては？	「仕事場」が何を指しているのかわかりづらいつらいつらと感じたため	対応済
26	問90の記載事例 ・順番を待つことが苦手な障害のある人に対して…手続きの順番を入れ替える」	・順番を待つことが苦手な障害のある人に対して、手続きの順番を入れ替える」	「の」の脱字と思われるため。	対応済
26	問93の選択肢	※「養護者による障害者虐待」「使用者による障害者虐待」等はいずれも言葉が難しく、わかりやすい表現に修正した方が良いのでは？	正式な言葉だが、回答する方にとって理解しづらいつらいつらと感じたため。	対応済

頁	質問票案における記載	修正案	その理由等	県の考え方(対応)
27	問95	ヘルプマークですが、マークの絵や写真を付けると、気が付く人もいないのでしょうか。		対応済
27	問96 ヘルプマークを持っていますか。 1. 持っている 2. 持っていない	ヘルプマークを持っていますか。 1. 持っている 2. 持っていない	3頁の問5では「お持ちですか」にルビがあるのに、なぜか、27ページでのみ、ルビがないから。 ルビをふるか、もしくは、4頁の問7の回答番号4のように「もっていない」とひらがなににしてもいいかもしれないです。	対応済(選択肢はひらがなに統一)
27	問96	設問の削除	ヘルプマークの所持について、障害がなくとも、持っている人がいるのだから、質問の必要性を感じない。	障害のある方がどの程度所持しているか把握するのに必要な質問と考える。
27	問97	5に「支援」を追記する	問題点として現実にある。	対応済
28	問98	「7.障害のある人が排除されない(共生できる)避難所」を追記する。	問題点として現実にある。	対応済
29	問102	「法律を遵守する施策」を追記する。 (番号は上位がよいかと)	問題点として現実にある。	具体的にイメージできない